

高脂血症患者における牛乳摂取の血清脂質に与える影響

千葉大学医学部第二内科講師 齋藤 康
篠宮 正樹

はじめに

前年度において同様の対象で検討し、牛乳摂取は、血清脂質に影響を及ぼさないという傾向を認めた。しかし、その反応は個人差がみられ、多くの症例による検討の必要性が指摘された。そこで今回、さらに同様の方法で検討を進めた。

対 象

30歳以上の女性で血中コレステロールが 220mg/dl 、中性脂肪が 150mg/dl 以上のいずれかまたは両者を有する患者8例とした。検討期間中は食事量と食習慣を変更しないこととした。牛乳は、全国牛乳普及協会より供与を受けたLL牛乳を、一日 400ml 朝夕に 200ml づつ摂取した。採血は、4週毎に5回(0、4、8、12週、後4週)、早朝空腹時に行なった。

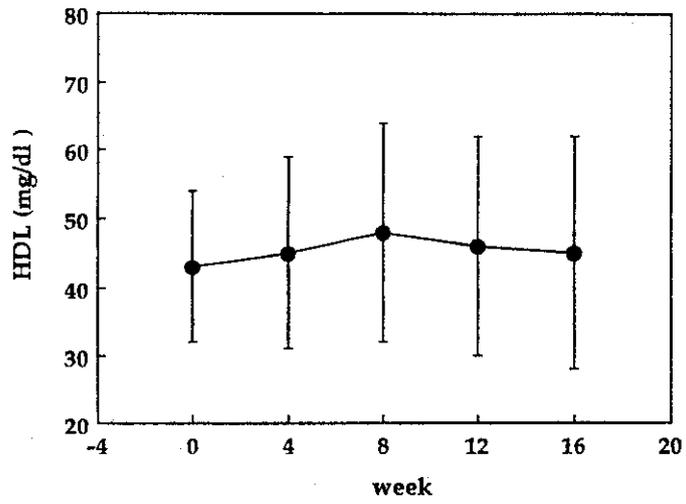
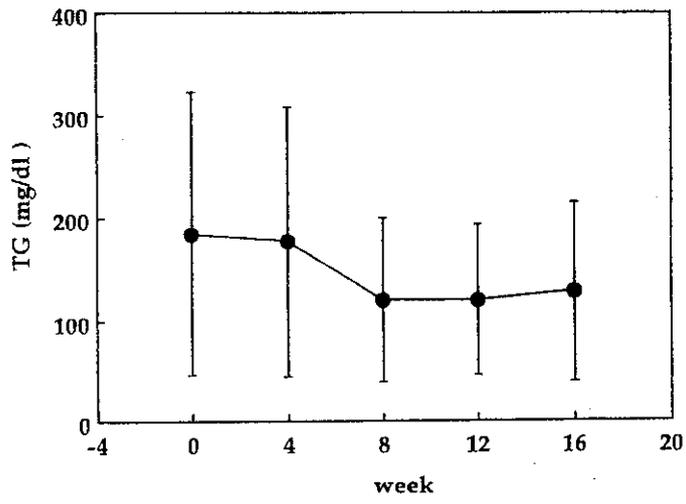
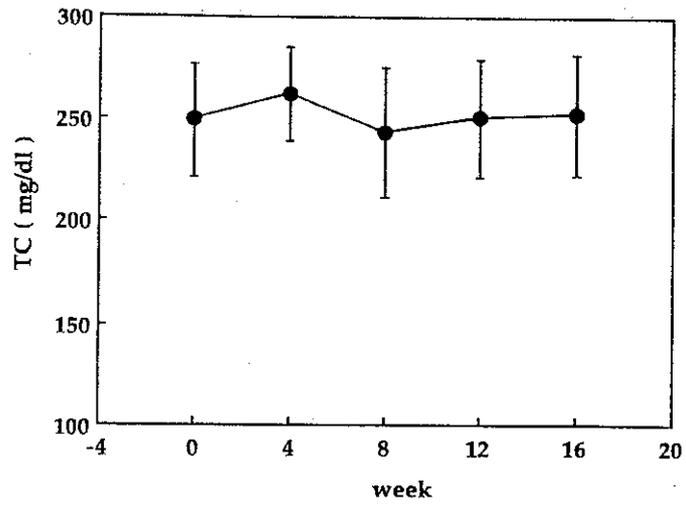
結 果

各検査値の平均値±標準偏差を図に示す。図1に血清脂質(TC、TG、HDL-C)、図2にアポ蛋白A I、B、E、図3に血清アルブミン、カルシウム。リンの変動を示す。

血清コレステロールは、投与前値 249mg/dl 、12週 250mg/dl で有意の変動を認めなかった。その他すべての検査値に、有意の変動を認めなかった。中性脂肪は低下の傾向、HDL-CコレステロールとアポA Iは上昇の傾向を示した。

結 論

牛乳の摂取は、血清脂質に対して悪影響を及ぼさなかった。



☒ 1

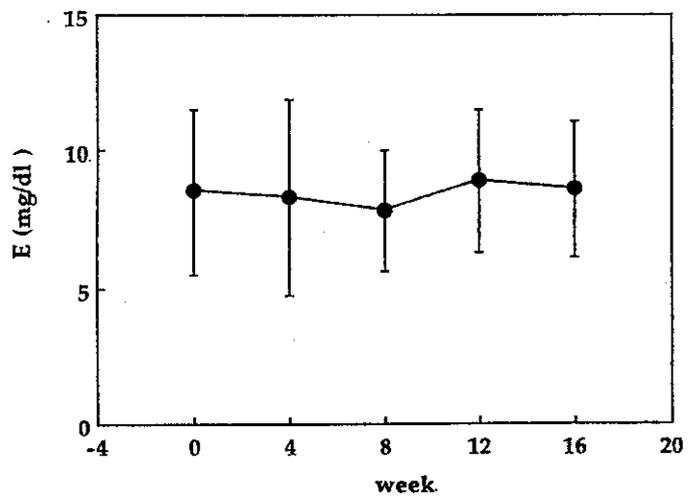
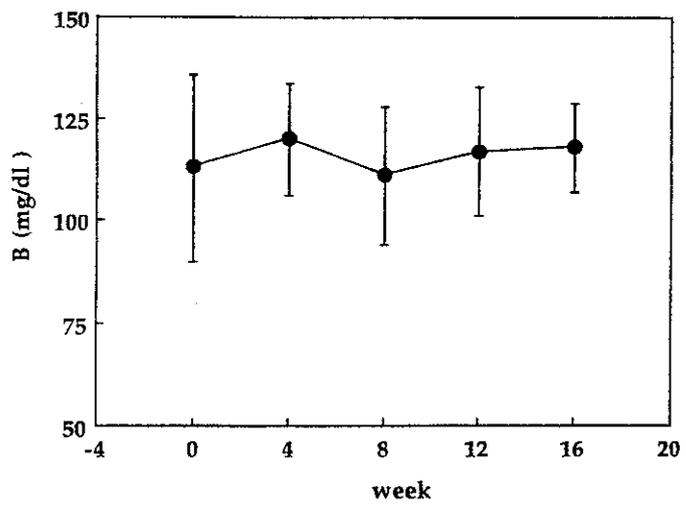
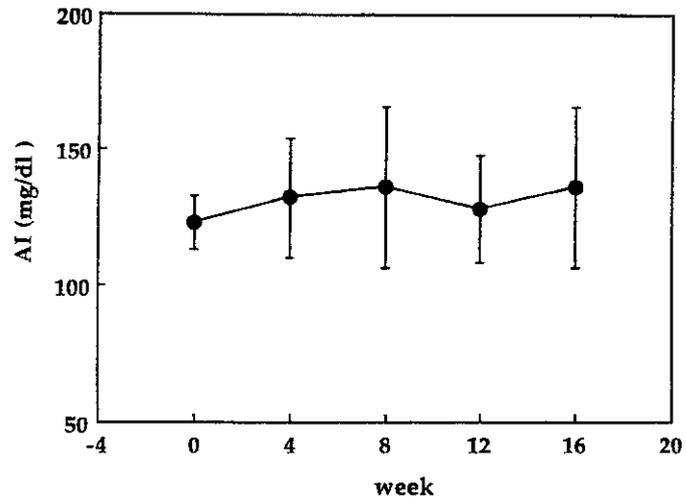


图 2

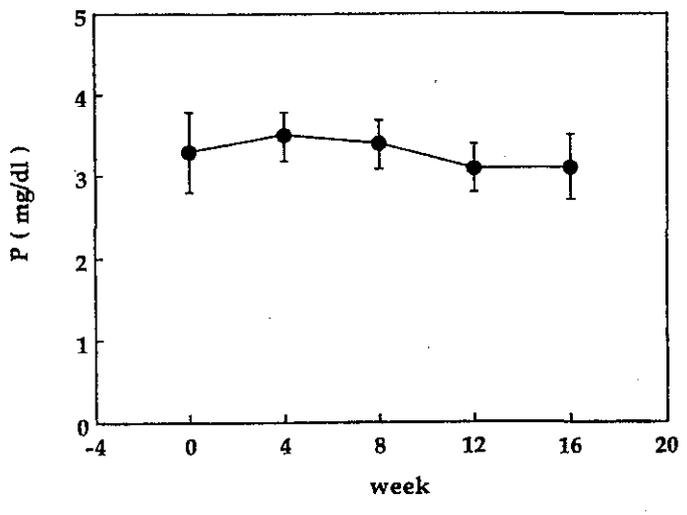
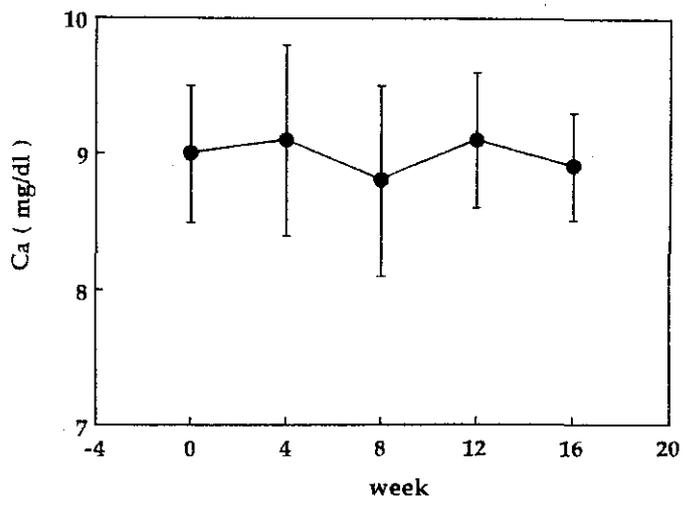
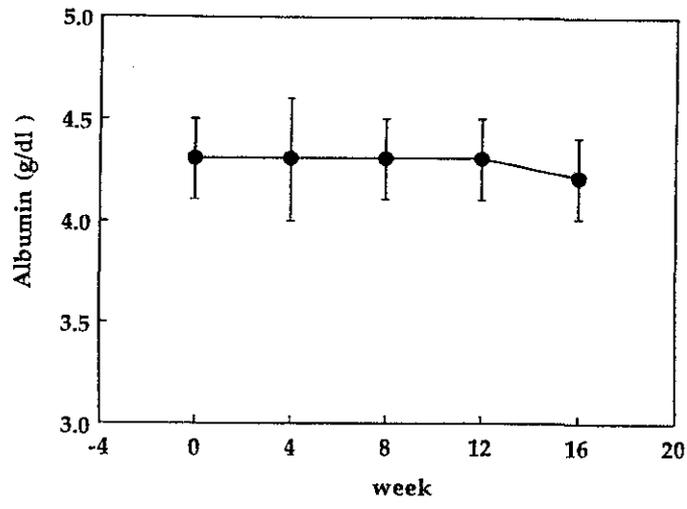


图 3